

第3章 所沢市脱炭素ロードマップに係る 環境の現況と施策の実施状況

※ 本章における各施策の実施状況は、2025年3月31日現在の実績を記載しています。

第1節 省エネの推進

第2節 再エネの推進

第3節 みどりの保全・創出

第4節 協働、学習、行動変容関連

【第3章における環境指標の主な見方】

<環境指標>

指標項目	単位	目指す方向	基準値	上段：年次目標値／中段：実績値／下段：達成状況						
			2022年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年
① 市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量（調整）の削減率	② %	③ 増加	④ 0 (2013年)	⑤ 72.2	73.3	74.4	75.4	76.5	77.6	78.6
				⑥ 70.1						
				⑦ ×						

<説明>

- ① 指標項目を表しています。
 - ② 指標項目に対し、計上する数値の単位を表しています。
 - ③ 指標項目について今後、目指すべき数値の方向性を表しています。
 - ④ 所沢市マチごとエコタウン推進計画（第3次所沢市環境基本計画）中間改定版の策定時に定めた、基準となる値を表しています。
- ※ 基準値に（ ）があるものは、基準値の値が2022年度の値ではなく、（ ）の年度の値であることを表しています。
- ※ 環境指標に記載されている「年」は、「年度」を意味しています。
- ⑤ 当該年度における目標値を表しています。
 - ⑥ 当該年度の実績値を表しています。
 - ⑦ 実績値が目標値に達している場合は「○」、実績値が目標値に達していない場合は「×」と評価しています。

第1節 省エネの推進

エネルギーの効率的な利用を考え、

限りあるエネルギー・資源を大事に、大切に使うマチ

概要

我々がふだん活用している様々なエネルギーや資源は限りあるもので、効率的かつ大切に使う必要があります。本節“省エネの推進”では、エネルギーの効率的な利用のため、「マチから広がる、脱炭素ライフスタイルの推進」「脱炭素に向けた省エネ機器・建築物への転換推進」「もったいないの心による廃棄物対策の推進」を施策の柱として取り組んでいます。

環境指標の達成状況

指標項目	単位	目指す方向	基準値	上段：年次目標値／中段：実績値／下段：達成状況						
				2022年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年
市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量（調整）の削減率	%	増加	0 (2013年)	72.2	73.3	74.4	75.4	76.5	77.6	78.6
				70.1						
				X						
脱炭素経営賛同事業者数	社	増加	-	571	1,143	1,714	2,286	2,857	3,429	4,000
				231						
				X						
低炭素住宅及び長期優良住宅の認定件数	件	増加	414	1,500	2,000	2,500	3,000	3,500	4,000	4,500
				1,687						
				0						
所沢市スマートハウス化推進補助金を支給したエコリフォームの申請人数	人	増加	234	750	1,000	1,250	1,500	1,750	2,000	2,250
				937						
				0						
市民1人当たりのごみ排出量（集団資源回収、事業系ごみ等は含まない）	g / 人・日	減少	448	441	432	423	413	404		
				427						
				0						

【現状及び課題】

◆2項目で目標未達成。引き続きエネルギーの効率的な利用を促進します。

「市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量（調整）の削減率」については、目標未達成となりました。記録的な猛暑等で公共施設のエネルギー使用量（主に電気）が増加したこと、使用している電気のCO2排出係数が大きくなったことが主な要因です。引き続きエネルギーの効率的な利用に努めるとともに、公共施設照明のLED化を進めます。

「脱炭素経営賛同事業者数」については、一定数の事業者から賛同表明を得られたものの、脱炭素経営のさらなる周知拡大には課題が残りました。

一方、「所沢市スマートハウス化推進補助金を支給したエコリフォームの申請人数」については、国の補助制度との相乗効果もあり、目標を達成しました。今後も、住宅の断熱化をはじめとする省エネ改修を促進するために、積極的な周知と支援を継続していきます。

「市民1人当たりのごみ排出量」については、市民によるごみ減量や資源化の取り組みが功を奏し、家庭系ごみの排出量が減少したことで、目標を達成しました。

主な施策の実施状況

①マチから広がる、脱炭素ライフスタイルの推進

○「はじめよう ECO 生活！」エコファミリー認定事業

チェックシートに記載されたエコアクション（環境配慮行動）に取り組んでもらい、意識の向上を図りました。2024 年度は 26,343 名が参加し、二酸化炭素排出量 15.06t の削減効果がありました。

○市内事業者「脱炭素の取り組みに関する意識調査」を実施

脱炭素の取り組みをさらに加速させるため、市内に本店または支店を有する「所沢市競争入札参加資格者名簿登録事業者」を対象に、経営上の課題や省エネ導入等に関するニーズを把握するための意識調査を実施しました。403 者に調査票を送付し、247 者から回答があり、回答率は 61.3%となりました。



また、市の脱炭素施策に賛同した事業者は、「所沢市脱炭素経営賛同宣言証」を事業所等に掲示することで、環境に配慮した事業活動への意志を表明しています。

②脱炭素に向けた省エネ機器・建築物への転換推進

○所沢市スマートハウス化推進補助金

ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）及び低炭素建築物等の建設や、エコリフォームを実施した市民に対し、経費の一部を補助する事業を実施した。

[2024 年度実績] ZEH 190 件 72,099,000 円／低炭素建築物 16 件 4,800,000 円／
エコリフォーム 839 件 18,349,000 円

○二酸化炭素排出量可視化事業

市内事業者 10 者を対象に、事業活動によって排出される二酸化炭素量を可視化し、削減に向けた提案や支援を行う実証事業を実施しました。今後は、本事業による効果を市内事業者の取組事例として発信することで、事業者による温室効果ガス削減対策をさらに推進していきます。

③もったいないの心による廃棄物対策の推進

リサイクルふれあい館では、ごみ減量及び循環型社会の形成に向け、3R 啓発の発信拠点として、市民に情報提供のための催事企画や館内展示、3R 実践のきっかけづくりとなる講習会などを実施しました。また、市内の小中学校に対して「3R 啓発ポスター」の募集や、各小学校 4 年生向けに副読本「わたしたちのくらしのごみ」を作成・配布し、環境意識の向上に努めています。

さらに、ごみを出さない仕組みとして再使用及び再生利用の意識を促すため、まちづくりセンター等で古着・食器のリユースイベント「もったいない市」を実施しているほか、リサイクルふれあい館においてリユース可能な木製家具や古着・古布類及び陶磁器等の頒布を行っています。

[2024 年度実績] もったいない市 実施施設：延べ 32 箇所 利用者数：7,434 人